

まちづくりテーマに市長の考え聞く



質問に対して一つひとつ返答をする國島市長

まちづくり協議会では、市民と市長の対話集会を2月16日に一之宮公民館で開催しました。この対話集会

は今年度市内各地で開催され、一之宮町が12地区目。集会にはまち協の役員ら関係者のほか、町内会長や支

一之宮まち協だより

第22号

平成28年3月1日

一之宮町
まちづくり協議会
広報委員会

高山市一之宮町3087
電話 53-2424

所職員など36人が出席し、「住民参画・実施型の『まちづくり』をどう進めるか」というテーマに沿って進められました。

冒頭、理想とする「まち協」の姿と課題について市長の考えを質問。

市長はそれに対して、地域の課題を集め、整理・議論して、自分たちの判断で行うのがまち協の理想の姿、課題はその権限と財源。現実的には課題が多いが、少しずつ改善しながら理想の形につなげたいなどと答えました。

続いて、まち協運営のカギを握る人材についてや「まち協」と町内会との関わり、支援金事務の簡素化について、また、市内の自主防災組織の現状や行政との連携、「まち協」ができる福祉施策について、などの質問が出されました。

國島市長はそれらに対して一つひとつ丁寧に答え、「まち協は役所の仕事の押し付けではないかと誤解している声も聞くがそれは全く視点が違う。市へ思いをつなげて一緒に解決するのが『協働のまちづくり』。課題を拾い上げて顕在化し、市と一緒に考えていく、その積み重ねが大切」などと話しました。

対話集会での質疑応答の詳細については次号以下のまち協だより等でお知らせします。

宮景

雪上クルージング

宮川・神通川最上流部に広がる一之宮町源流の森（モンドウスノーパーク周辺）を走り抜ける源流の森雪上ドライブクルージング。冬の風物詩になって13年目を迎えた今年は、昨年とは全く違う暖冬となりましたが、雪不足をのりこえたスタッフの努力でいつものように源流の森を楽しく走っています。



流れ出す前の水を試飲する参加者

クルージング体験では、冬の森で暮らす動物の足跡を見たり、ウェーブのジャンプ台を超えた折り返し地点では、川の流れ始めを改めて思

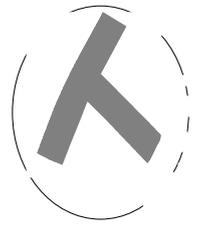
わせる最初の水の一滴にも出会えたりします。一之宮町から皇室に献上される、岐阜県そして高山市の木でもある「イチイ」で作られた「シャク」の説明もガイドさんからあります。近年は、外国からのお客様も増えてその案内も国際化しつつあると聞きました。

ウィンタースポーツステージの片隅の林道を走り続けるこのクルージング

は、雪上を疾駆する爽快感のほかに、地域に暮らしている私たちに森や水の大切さやその魅力を伝えようと、暖冬の今年も源流の森で頑張っています。（田玉昌明）



歓声を上げてクルージングを楽しむ子ども達



更生保護女性会でも活躍

元祖「山ガール」です！

松垣あさるさん

(野添)

今回の「まちよな人」は、高山市更生保護女性会一之宮支部で活動する野添地区の松垣あさるさん(72)です。

「更生保護女性会」といっても私たちには聞きなれない言葉ですが、女性の立場から地域における犯罪予防や子どもたちの健全育成のための子育て支援活動を行う、法務省所管のボランティア活動を行う会だということです。

松垣さんは平成19年からこの活動を始められ、現在一之宮町内の仲間6人の中心となって活動するほか、市の女性会の副会長を務めてみえます。

「更生保護についてもっと知ってほしい」と語る松垣さんに町内での主な活動について聞いたところ、4月の中学校での説明会を皮切りに、5月の一ノ宮駅での啓発活動、8月の「学童さくらんぼクラブ」での読み聞かせ、12月には保育園を訪問して園児と交流、



ご主人と登った乗鞍岳剣ヶ峰にて

ほかに、社会福祉クリーンボランティア活動への参加や独居の方との交流とまさに多彩。こうした地道な活動を聞くにつけ頭が下がる思いです。

ところで、松垣さんはもともと看護師さん。愛知県の稲沢市で看護師をしていた松垣さんが結婚を機に一之宮に家を建てたのが、この地との縁の始まりです。

その後当時の村からヘルパーをやっていたと声をかけられて、看護師資格を生かす仕事に復帰したのが30年ほど前のこと。家々を訪問して看護や介護を行うヘルパーは村では初めての職種で、最初は戸惑うところもあったものの、次第に慣れ、その後松垣さんは村の職員として定年退職まで務められました。当時を振り返り「どこの家でも優しく迎えられたことがうれしかった」と語る松垣さん。

登山が趣味で、「みやトレッキングクラブ」にも最近まで所属してみえた松垣さんは、槍や笠ヶ岳など一之宮から見える山はほとんど登ったという山ガール。中でも特に印象が強いのが富士山で、すばらしいご来光が今でも一番の思い出だそうです。

散歩を毎日欠かさず、「仲間がいれば歌の会もつくりたい」と意欲的に話される松垣さん、そんなエネルギーに私たちもあやかりたいと思いました。

(山腰)



子ども達へのレッスン

黒木 義弘 さん(モンデウス位山スキー学校長 段)

モンデウス位山スキー学校は、スキー場のオープンからクローズまで約80日間の営業を行っています。ファミリー中心の年齢層が多いため、スキー学校に入校される生徒さんはキッズ(保育園)から小学校低学年が全体の7割を占めています。主に中京方面からのお客が多く、受講クラスは初めてスキーをする子ども達とリピーターで訪れてくださる子ども達がほとんどです。

キッズレッスンの担当は、主にやさしい女性インストラクターにお願いしています。でも人手が不足する時は、男性のインストラクターにもお願いしています。

キッズレッスンは、今から十数年前に多くのお客からの要望に応じて開講することになったのですが、当時のインストラクターはキッズ指導の経験が全く無く、「本当にそんなことができるのかな」「大変やろうなあ」と思っていました。また、当時の校長が中心となって、地元の保育園の保育士さんにスキー学校での講演を依頼したこともありましたが、その時の保育士さんからは、「そんなこと、よう始める気になったなあ。大変やよ」と言われたことしか覚えてないくらいです。

それから試行錯誤を繰り返し、時には子ども達に泣かれ、

そして時には保護者にクレームを付けられることもありましたが、でもなんとか子ども達にスキー技術とスキーの楽しさを学んでほしくて、インストラクターたちは必死で取り組んでくれました。

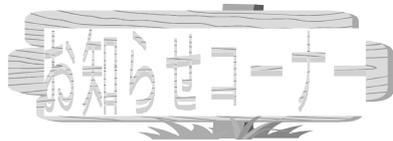
そして今では、キッズレッスンはスキー学校の看板レッスンに成長しました。バンビーノ(エスカレーター)が設置されたことも大きく影響していますが、モンデウスのキッズレッスンはインストラクターの指導力もあり好評をいただいています。

また、私達は地元モンデウスジュニアスキークラブの指導、高山市内の小学校スキー教室の指導も行っています。特にジュニアスキークラブは部員約60名という県下一の大所帯で、昨年度のジュニアオリンピックには7名の出場を果たしました。今年は入賞を目指し子ども達と頑張っています。

これからも子どもたちへのスキー指導を通じ、スキー技術の向上とスキーの楽しさを伝えていきたいと思います。



キッズレッスンの様子



宮峠トンネル工事期間

中のおお願い

国道41号宮峠トンネル事業は今春からトンネル本体の工

事を予定しています。

これに伴い、「市道の通行止め」「濃飛バスのバス停の休止」を行いますのでご案内します。

期間：平成28年3月1日～平成30年2月28日

市道通行止め：市道清水10号線

バス停休止：宮トンネル口バス停



当日参加もOK!!

町民スキー大会参加者募集!

モンデウススキー場で雪上スポーツを楽しみませんか。スキークラブ員の部門を設け、一般の方の参加がしやすくなりました!

日時：3月5日(土) 午前8時～ 受付開始

場所：モンデウス飛騨位山スノーパーク

申込み：3月3日までに、各町内の体育委員または、一之宮公民館まで

詳しくは、折込のチラシをご覧ください。



4月3日に土雛人形展

生きびな祭と同時開催!

一之宮町内で所有されていて宮村へ寄付された土雛を展示します。山田焼の土雛や、江戸時代中期に作られた「享保びな」とみられる貴重なお雛様など、約70体をご覧ください。

生きびな祭りにてぎわう水無神社での開催です。あなたの昔懐かしいお雛様にあえるかも。ぜひ足を運んでください。

期日：4月3日(日)

場所：水無神社

お問合せは水無神社へ



リフォーム製品フェアのご案内

リフォーム製品フェアは、粗大ごみとして出された家具等の中から、清掃と簡単な修理をするだけでまだ使用できるものを清掃・修理し、格安の値段で提供するものです。

足を運んでみてはいかがですか。

場所：一之宮支所口ビー

期間：3月8日(火)～3月10日(木)

時間：8時30分～17時



図書館だより

飛騨にも春の気配が近づいてきました。あたたかな陽気に誘われて出かけたくなりますね。そんな時はぜひ図書館にお立ち寄りください。

また、蔵書点検期間中はご不便をおかけしました。皆様に気持ちよくご利用いただくため、書架づくりにも努めてまいります。今後とも一之宮分館をよろしく願います。

今月の特集

朝活のスヌメ

毎日をより充実した一日にするために「朝活」を始めてみませんか。少しだけ早起きして、自分のために用意する「朝時間」を有意義に過ごすヒントになる本をご紹介します。



季節の絵本 ひな祭り・入園・入学の絵本を紹介いたします。

おはなし会のご案内

3月19日(土) 午前10時30分 スタッフによる絵本の読み聞かせ・手遊び。申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

公民館から

展示コーナー

絵手紙さくらクラブ作品展 (3月中旬まで)

3月の公民館定休日

14日(月) 22日(火) 28日(月)

3月の位山交流館定休日

7日(月) 14日(月) 21日(月)

28日(月)

つばやき

今年の冬は寒かった?暖かった?と問われれば、ほとんどの方が後者だと答えるでしょう。暖冬のためスキー場が雪不足、冬物衣料が売れないと有名メーカーも業績不振と伝えられました。しかし、大寒の辺りから寒波が何度も訪れ、野菜の値段が大きく値あがりし、インフルエンザの流行も長引きそうです。とはいえ、春は着実に近づいています。どんな冬を過ごそうと、臥龍桜は今年も美しい姿を私たちに見せてくれることでしょう。(本の宅急便)

一之宮町の人口情勢

世帯数		815戸	
年齢	男性	女性	合計
0~14歳	184	157	341
15~64歳	695	724	1,419
65歳以上	343	462	805
合計	1,222	1,343	2,565

2月1日現在・単位：人

日	曜日	行事内容
3	木	行政相談・心配ごと結婚相談 (交流館)
5	土	町民スキー大会(モンデウス)
7	月	宮中学校卒業式
12	土	サタデイスクール閉校式
19	土	宮小学校卒業式
23	水	町内会長・班長会(公民館)
24	木	宮保育園卒園式
25	金	中学校修了式

感謝の心で「送会」開催

宮中学校では2月17日に一之宮公民館で、「感謝・感動・届ける・継ぐ」をテーマに3年生を送る会を行いました。

今年の宮中学校は、野球部、吹奏楽部、陸上部、駅伝の県大会出場や図書館活動等々に見られるように、すばらしい活躍ぶりでした。また、一之宮町文化祭に全校で参加したり、地域行事に積極的に取り組みなど一之宮町を盛り上げてくれました。

その中心となって活動したのが3年生でしたが、送る会では、1年生は3年生一人ひとりに思い出に残るメッセージと合唱で、2年生は劇と合唱で、これまでの感謝を表し労をねぎらいました。

3年生は、合唱とメッセージでこれまでの感謝や今後の決意、在校生への期待を述べていました。

生徒会の引継式では、良い伝統を生徒自ら引継ぐ決意の式となりました。高い志で来年度につなげてほしいものです。

(山腰)



3年生に向けて合唱する1、2年生

宮小では「6年生を送る会」



感謝の気持ちいっぱいの在校生の発表

宮小学校6年生を送る会が2月26日に「感謝と共に思い出を！」をスローガン行われました。

ステージのスクリーンに映し出される幼少期の写真と共に登場する6年生は、面影は残るものぐつと成長した姿がとて頼もしく見えました。

5年生以下在校生は学年ごとに今までお世話になった6年生への感謝の気持ちを精一杯表現し、6年生も在校生、先生方に対する思いをこめた最高学年らしい素晴らしい発表と合唱で心えました。

先生方からのプレゼントはトンチャイムという楽器の素敵な演奏でした。みんなの思いを胸に春からの中学校生活も楽しいものにしてほしいと思います。

女性委員会が反省会

まち協女性委員会は、2月6日に民宿「甚左衛門」で、理事・支部長ら出席し、来賓としてまち協の田邊重敏会長を招いて反省会及び

全国・東陸中学スキー大会で健闘

今年度も宮中からはたくさんの生徒が全国や東海北陸中学校スキー大会に出場しました。

全中大会では出場選手全員と成績、東海北陸大会では入賞選手(8位以内)を紹介します。

全国中学校スキー大会

2月3日～2月5日

アルペン(北海道富良野スキー場)

【大回転女子】黒木玲名46位 渡瀬詩織55位【回転男子】黒木健斗14位【回転女子】渡瀬詩織120位

クロスカントリー(北海道なよろ健康の森クロスカントリーコース)

【クラシカル】幅上翔太106位 谷口晴基111位 役田陽127位【フリー】幅上翔太93位 谷口晴基113位 役田陽131位

【リレー】岐阜県チーム15位 幅上翔太 3走

東海北陸スキー大会

2月11日～2月12日

アルペン(富山県たいらスキー場)

【大回転男子】黒木健斗5位【大回転女子】黒木玲名5位 渡瀬詩織8位

【回転男子】黒木健斗6位

写真は全中での黒木健斗選手(左)と幅上翔太選手



反省会に出席の理事ら。会話が弾みました。

懇親会を行いました。

執行部より今年度活動・会計報告の後、各地区の理事・支部長が一年を振り返り、反省や今後の抱負について話し合いました。

反省会では、長年続けてきた「1円玉募金」を「すくすく募金」と名称変更して続行することや力

口リアへのタオルの寄贈の継続、また、理事と支部長を兼ねて選出することなどが承認されました。今年度は「楽しんで活動、多数の方の参加」を目標に、意見交換の場を大切に、執行部・理事・支部長が協力して運営ができました。

見守り隊意見交流会開催

(牛丸)

一之宮町子ども見守り隊の意見交流会が2月27日に一之宮公民館で開催されました。

交流会には地域ボランティアから6人と青少年育成委員が参加し、地域ボランティアの方々への感謝もこめて、食事をしながらのランチミーティングの形で話し合いを行いました。

なお、今年度の事業としては、地域ボランティアの方に見守り活動時に使用する夏用ベストと冬用の防寒着を支給(貸与)しました。

宮峠トンネル工事説明会

国道41号宮峠トンネル工事説明会が2月18日に一之宮支所で開催され、地元の人など23人が出席しました。高山工務事務所などから9人が出席して説明がありました。

説明会の内容は、これまで出された意見への対応についてや水文調査状況報告があり、質疑応答に続いて今後の工事計画や施工方法などについて説明がありました。

参加者からは、工事期間中の騒音対策など、多くの質問が出されました。予定では今後2年半後にトンネル掘削が終わり、5年後の完成を目指して工事が行われます。